

本執筆要項は、名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリの年報である『GRL Studies』の原稿の執筆に関連する事項について定める。

1. 提出の形式

- (1)提出は、Word ソフトによる原稿が望ましい。
- (2)ページ数は挿入しない。
- (3)和文横書き、1 ページ 40 字×30 行で作成する。
- (4)要旨

2. 文体およびフォント

- (1)文体は原則として常体（である、だ）とする。
- (2)フォントは、和文は MS 明朝、欧文は Times New Roman を用いる。
- (3)本文の文字サイズは、11 ポイントとする。注は 10 ポイントとする。タイトルは 12 ポイントとする。
- (4)和文字は全角、算用数字・アルファベットは半角とする。
- (5)和文の箇所においては、引用箇所等を除き、和文記号（、。「』『」（）等）を使用する。
（cf. 欧文記号（, . “ ” ‘ ’ « » 等）、敬体（です、ます））

3. 本文

- (1)原稿は、以下の構成とする。
タイトル（日英両方）（副題をつける場合には左にダッシュをつける。英文タイトルはサブタイトルの前にコロンをつける）
氏名（日英両方）、所属・身分（職位）
目次（目次をつけない原稿はこの限りではない）
本文
謝辞（必要な場合のみ）
注
- (2)本文を区別する場合は、章は 1.、2.、3.、… その下の区分は（1）、（2）、（3）・・・の順に表記する。

4. 図版・表など

- (1)図、表、写真、画像等は、本文中に挿入箇所を明記する。図表等は、本文ファイルとは別に Word に張り付けて一つにまとめて提出する。図・表のデータは Word、Excel、写真・画像は JPEG または PNG ファイル形式とする。
- (2)図表は B6 の大きさのものを 600 字（半ページ）、B7 の大きさのものを 300 字（1/4 ページ）の分量として計算し、それを所要枚数に含める。
- (3)図表にはすべて図表の下に、図表番号、題目、（説明）、出典をつける。
（cf. 図表 1 XXXX、図表 2 YYYYY（番号と題目の間に半角スペースを挿入））
- (4)引用図表はもとより、自分で作成した場合であっても出典を明記する。必要に応じて、転載・引用者が費用負担の上、原著者または著作権所有者から使用許可を事前に得ておく。

注について

(1)本文中の注記は、word 脚注機能の文末脚注を用いる。注の文字サイズは、10 ポイントとする。本文中に付ける脚注の番号は、右肩上付きの半角算用数字とする。(例：～である¹。従って、こうした要項²についての～)

(2)本文中の文献注

- ① 本文中の文献注は、全角の () を用いた割注で記載する。
- ② 文献注の () 内には著者名と出版年を記載し、著者名と出版年の間は半角スペースを入れる。
- ③ 必要な場合は引用ページ数を入れる。出版年のあとに半角コロンと半角スペースを入れ、始まりのページ数、半角ハイフン、終わりのページ数を記入する。

《例》

単著：…道德の問題から切り離そうとしていた（前川 2017: 182-183）。

同一著者の同年に複数の文献がある場合：（田中 2015a）

複数の文献：（山田 1980,1990）、（Nagoya and Gifu 2000; 愛知 2021）

共著の文献（2名）：（山田・田中 2020）、

共著の文献（3名以上）：（山田ほか 2021）、（Nagoya et al. 2019）

5. 文献リストについて

『社会学評論スタイルガイド 第3版』（18-32頁）に準拠する。

以上